



お寺の庭の菩提樹の実

早いものですねもうお盆の時期をむかえますね。今年もやはり天気が不順ですね。雨が少ないので水不足が心配です。お盆は水の供養といいます。天の仏様やご先祖様にもっと水を差し上げなくてはいけないのでは無いですかね。身勝手な行動や考え方ではなく、優しさと感謝をもっと表したいものですね。ゆったりと、ゆっくりとお盆を過ごし、普段失われた余裕の心を持てるようなものですね。

## ☆お盆に想う

お坊さんにとってもお盆は何となく寂しさを感じる季節です。去年のお盆が終わり今年の5月いっぱい又は6月いっぱいまでになくなった方達は新盆、初盆という初めてのお盆を迎えます。(7月盆なら5月いっぱい8月盆なら6月いっぱい、49日が盆の入りの13日までに終わっている方達が一応の目安で家庭や、地域の考えで時期がずれ来年の場合もあります)

この間まで一緒にいたり、お寺やお宅でお経を唱えたり、何かをお願いしたりして協力していただいた方達その方達は今年はいないのです

すごく寂しい気持ちになることあるんですよ。何がもっと出来ること無かったのだろうか。いま、あちらの世界ではどのようなんだろうとか。私のお経で本当にいいのですかとか。いつも思います。

仏壇の位牌や、飾ってある写真にありがとう！！どうしてる？とか、心で語りかけながらお経を供えさせてもらってますがやはり、家族の皆さんと同じように寂しいですね。もっと話したかったとか、お酒飲みたかったとか一緒におまんじゅう食べたかったとか思います。

こんな気持ちお坊さんが持ったら変かも知れませんがお盆が始まるとお葬式の時とは違う。また寂しさにおそわれるのです。

お盆は賑やかに温かくご先祖様を供養して下さい。私たちお坊さんも寂しさを胸にしまい一生懸命お経を供えさせていただきます。

ありがとう！！！！



## ☆お盆とは

毎年書いていますがお盆の言われ、由来についてです。  
お盆の由来についてはお経に出てきます。お経とはだいたい物語風になってます。  
物語によると お釈迦様の弟子の目蓮さま（正式にはもくれんそんじゃと言います）が、お母さんが死後に、餓鬼道（がきどう何か食べたいとか、のどが渇くとか、もがく世界）に行ってしまう苦しんでいる姿を、自分の透視能力で知り助けようとしたのですが、出来ずにいました。

何で・・・？

自分がこんなに修行をしているのに！！ 皆さんの同じです

お釈迦様に救う方法を相談しました。  
お釈迦様はお母さん自身罪があったのだから  
あなた一人の力では無理ですよと答えたそうです。

お母さんは貧しくても優しい人でした。しかし子供が多く  
他人のことを考えるゆとりがなかったのです。自分の子供のためだけで、他の人たちに思いやりにちょっと欠けていたんだよ  
と言われました。

お母さんを救うためには7月15日夏の行が終わる日に

（昔夏の行は暑くきびしい体力を消耗する行でした）

修行を終えた沢山のお坊さんたちに食べ物を供養し、その功德によって、救い出すことが  
出来ますよと、お釈迦様が優しく話されたそう  
です。それを聞いて実行し母親を救うことが出来たという教えから始まっています。  
それに従って行動したたったモクレン様はさすがですね

親を思う気持ちや、先祖様を敬う気持ちそれに  
答える為に、自分自身だけでなく人にも思いや  
りのある優しい心で接したいものですね。そし  
てたまにはゆとりの心で行動しましょうという  
意味を込めてお盆の始まった様な気がします。

もし、先祖様（おじいちゃん、おばあちゃん、  
お父さん、お母さん）が苦しみをうけていたら何とかしてあげたいと思いませんか。ご先  
祖様を何とか元気づけてあげたいと思いませんか  
お盆は先祖様に対しありがとうと感謝し元気をあげる行事です。  
そのためにこの時期の新鮮な果物や、野菜を供えます。  
また好きだった物を上げてください。  
喜びますよ(^o^)！！

☆お寺の行事※8月は変則ですのでご注意ください

7月21日 午前 盂蘭盆施餓鬼 午後 大人の寺子屋第1回「食育講座」  
手探りですが大人の寺子屋を始めます。お寺以外のちょっとためになる  
話が聞けますので是非参加ください。仏事の講座も開いていきます。  
聞きたいことありましたら教えてください。

8月 8日 戦没者慰霊祭 旧野栄町の遺族会の皆様と共に慰霊と平和を祈ります  
8月21日 新盆お施餓鬼 新盆の皆さん、沢山のお坊さんと共に回向します

